

令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施設名	豊中市立青少年自然の家
所管部(局)課	教育委員会事務局 社会教育課
指定管理者	特定非営利活動法人豊中市青少年野外活動協会

評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価	
1 基本姿勢	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか	豊中市の公共施設としての設置目的をふまえ、令和4年度青少年自然の家事業計画書に記されている「運営目標」に基づき管理運営が行われた。 市との連絡調整の任にあたる者が、市の施策・関係法令・施設設置目的を理解し、それ以外のスタッフも同様のレベルに達することができるよう定期的に内部ミーティングを実施し、情報共有と課題把握、課題解決に努めながら事業運営を行った。	B	
	市の施策全般を理解し協力しているか			
	地方自治法等の関連法令を遵守しているか			
	施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか			
2 サービス水準・施設効用の発揮	その施設として重要と思われる業績の評価指標(KPI)(大をめざすもの)	利用団体数・利用者数	最高評価サービス水準値; 340 団体 (16,000 人) 確保すべきサービス水準値; 280 団体 (13,000 人) 実績値; 310 団体 (9,322 人)	B
		利用率	最高評価サービス水準値; 30% 確保すべきサービス水準値; 15% 実績値; 24.6%	
		主催事業実施数 (主催キャンプ含む)	最高評価サービス水準値; 15 事業 確保すべきサービス水準値; 10 事業 実績値; 16 事業	
		施設環境整備実施数	最高評価サービス水準値; 8 回 確保すべきサービス水準値; 4 回 実績値; 14 回	
		主催キャンプ実施数	最高評価サービス水準値; 5 回以上 確保すべきサービス水準値; 4 回 実績値; 5 回	

評価項目		評価ポイント		所管部局コメント	評価
		プログラム開発数 (出前事業含む)		最高評価サービス水準値；5 件以上 確保すべきサービス水準値；3 件 実績値；6 件	
		ホームページアクセス数		最高評価サービス水準値；20,000 件 確保すべきサービス水準値；10,000 件 実績値；88,222 件	
		指導者研修実施回数・延参加者数		最高評価サービス水準値；8 回、延べ240 人 確保すべきサービス水準値；2 回、延べ60 人 実績値；15 回、延べ212 人	
		施設の維持管理を安心安全に配慮して行っているか		<p>コロナ対策として、各活動場所の定数を7割程度にしたが、利用者の密を避けたい心理要望に可能な限り応え受け入れたことなどにより、利用人数が確保すべきサービスレベルに達しなかった。しかし他の評価項目については、7項目中5項目で最高評価サービス水準に達している。</p> <p>安全管理では、7月、水質検査の基準値超えにより、浄水の飲用禁止期間が15日間生じたが、市への報告を速やかに行い大阪府の指示を受けながら迅速・的確に対応した。また10月、場内木製の橋の手すりかたれ、利用者が負傷する事故が発生したが、速やかに対応手当を行い、また該当箇所の補修及び場内全体の緊急点検を実施し、他に危険箇所の抜け漏れがないか複数スタッフで確認した。古くても清潔で安心感のある施設となるよう、場内巡視点検を毎日3回行い、危険箇所の早期把握に努めている。</p> <p>家族・小グループやキャンプ初心者向けのプログラムを新規開発、雨天時の活動場所確保のためキャンプサイトに屋根を整備するなど、利用者層の変化に応じた創意工夫ある姿勢が見られる。</p>	
		利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか			
		使用許可の判断等を公平公正に行っているか			
安定して確実に日常業務を遂行しているか					
創意工夫ある独自企画事業を展開しているか					
3	財務健全性	貸借対照表は健全か		いずれも市で設定する指標をクリアしており健全である。	B
		損益計算書は健全か			
		資金保有（期末残高）は健全か			
		（当該事業の）収支状況・収支計画は適切か			
4	市民満足度への配慮	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か		利用者アンケートにおいて、今後の利用について「ぜひ利用したい」が7割を超えていること、また苦情がゼロ件であったことなどから、高い満足度が表れており	A

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		地域の市民との関係は良好か	評価できる。 また 60 周年記念事業「エキサイティングのせ」実施にあたり、地元能勢町の企業・団体（6 団体）の協力により、能勢町の魅力を体験できるプログラムを提供していただいた。その他、年間を通して 27 の団体や企業に協力していただく関係性が構築できている。	
5	従業員への配慮	労働関係法令を遵守しているか 研修は実施されているか 従業員が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか 従事者（第三者委託先の従事者含む）が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	概ね従業員への配慮が行き届いた運営がされている。少ない職員数での運営であるが、繁忙期にはサポートスタッフを適宜配置する体制が整っている。 従業員の研修については、救命講習をはじめ、近畿地区青少年教育施設協議会の所長研修会・専門研修会、ダイバーシティ・性の多様性をテーマにした勉強会や研修会への参加、民間施設視察など、計 9 回行い、従業員の研鑽の機会としている。	B
6	個人情報保護体制	個人情報保護の体制が整備されているか	マニュアルに基づき、個人情報保護の視点を持って運営されていた。	B
7	危機管理体制	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	緊急時の対応を策定し、安全・危機管理担当者を設置するなど、危機管理体制の整備に努め、防災訓練を年 2 回実施している。また、新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインと対応マニュアルに沿って運営した。	B
8	その他	その他、条例等から必要と判断される評価事項（豊中市立小・中学校に対して、施設利用および主催事業参加への訪問啓発活動が実施されているか。）	主催事業の案内チラシは、豊中市立学校を通じて全児童・生徒に配布、また地域子ども教室の出前講座でクラフト指導を行い、わっぱるの認知度向上を図った。また豊中市校長会で、学校向けのプログラム案内やバス補助制度を周知、加えて学校への個別説明を丁寧に行った結果、学校の宿泊利用が増えた（R3 年度 1 件から R4 年度 5 件）。	A

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		総合評価	<p>コロナの影響による上半期の大口団体のキャンセル等により、利用人数は確保すべきサービス水準値を下回ったが、密を避けたい利用者の要望に可能な限り対応し、安心・安全を第一に事業運営しており、改善を要する運営状況と評価する値ではないと判断する。</p> <p>豊中市校長会での小中学校向けプログラム案内・バス補助制度の周知や、個別学校への説明など積極的・丁寧に行い、利用につなげている。また新規利用者層獲得のため、民間事業者と連携したコラボ事業の展開や、雨天時や家族向けの新規プログラム開発、Instagram開設やブログ・SNSでの積極的な発信など、利用者層に応じて創意工夫ある事業展開を行っている。また市との定例会で運営上の課題等を共有し、突発的な事故発生時も市への報告を迅速に行い適切に対応しており、管理運営状況に問題はなかったと評価する。</p>	B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
- B ; 問題のない管理運営状況である
- C ; 改善を要する管理運営状況である

令和4年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表（基本形・内訳表）

施設名	豊中市立青少年自然の家
所管部(局)課	教育委員会事務局 社会教育課
指定管理者	特定非営利活動法人豊中市青少年野外活動協会

	評価項目	評価ポイント	評価	優れている (A)	問題がない (B)	改善を要する (C)	
1	基本姿勢 評価 (B)	団体の経営目標等が公共の利益の増進に合致したものであるか	B	公共の利益の増進を極めて真摯に追求している	公共の利益の増進に合致している	公共の利益の増進に反している	
		市の施策全般を理解し協力しているか	B	積極的に理解協力している	理解協力している	理解協力がみられない	
		地方自治法等の関連法令を遵守しているか	B	入念な体制を構築して遵守している	遵守している	遵守しているとはいえない	
		施設の設置目的に沿った事業運営を行っているか	B	設置目的を真摯に追求した事業運営を行っている	設置目的に沿った事業運営を行っている	設置目的に反した事業運営を行っている	
2	サービス水準・ 施設効用の発揮 評価 (B)	その施設として重要と思われる業績の 評価指標 (KPI) (大をめざすもの)	利用団体数・利用者数	B	最高評価サービス水準値；340 団体 (16,000 人) 確保すべきサービス水準値；280 団体 (13,000 人) 実績値；310 団体 (9,322 人)		
			利用率	B	最高評価サービス水準値；30% 確保すべきサービス水準値；15% 実績値；24.6%		
			主催事業実施数 (主催キャンプ含む)	A	最高評価サービス水準値；15 事業 確保すべきサービス水準値；10 事業 実績値；16 事業		
			施設環境整備実施数	A	最高評価サービス水準値；8 回 確保すべきサービス水準値；4 回 実績値；14 回		

評価項目		評価ポイント	評価	優れている (A)	問題がない (B)	改善を要する (C)
		主催キャンプ実施数	A	最高評価サービス水準値；5回以上 確保すべきサービス水準値；4回 実績値；5回		
		プログラム開発数 (出前事業含む)	A	最高評価サービス水準値；5件以上 確保すべきサービス水準値；3件 実績値；6件		
		ホームページアクセス数	A	最高評価サービス水準値；20,000件 確保すべきサービス水準値；10,000件 実績値；88,222件		
		指導者研修実施回数・延参加者数	B	最高評価サービス水準値；8回、延べ240人 確保すべきサービス水準値；2回、延べ60人 実績値；15回、延べ212人		
		施設の維持管理を安心安全に配慮しているか	B	安心安全を維持向上するしくみが確立している	安心安全への配慮がある	安心安全への配慮がみられない
		利用者等にサービスを提供するうえで、事故防止のための安全管理が徹底されているか	C	安全管理が徹底され、さらにそのしくみが確立している	安全管理が徹底されている	安全管理が不十分である
		使用許可の判断等を公平公正に行っているか	B	公平公正を維持向上するしくみが確立している	公平公正に行っている	公平公正に行っていない
		安定して確実に日常業務を遂行しているか	B	安定性を維持向上するしくみが確立している	安定して確実に遂行している	安定性・確実性に欠けている
		創意工夫ある独自企画事業を展開しているか	B	創意工夫ある事業を活発・多様に展開している	創意工夫ある事業を行っている	創意工夫ある事業がみられない
	3	財務健全性 評価 (B)	貸借対照表は健全か	B	問題がなく、非常に良好	概ね問題がない
損益計算書は健全か			B	問題がなく、非常に良好	概ね問題がない	著しい累積欠損がある
資金保有（期末残高）は健全か			B	問題がなく、非常に良好	概ね問題がない	資金に余裕が全くない
（当該事業の）収支状況・収支計画は適切か			B	問題がなく、非常に良好	概ね問題がない	説明のつかない部分がある

	評価項目	評価ポイント	評価	優れている (A)	問題がない (B)	改善を要する (C)
4	市民満足度への配慮 評価 (A)	利用者アンケート・市民の声等の状況は良好か	A	アンケート結果良好・指定管理者の責による苦情はみられない	アンケート結果普通・苦情の状況等は許容できる範囲にある	アンケート結果悪い・指定管理者の責による苦情が常にある
		地域の市民との関係は良好か	A	良好な関係を維持向上するしくみが確立している	良好である	良好とはいえない
5	従事者への配慮 評価 (B)	労働関係法令を遵守しているか	B	入念な体制を構築して遵守している	遵守している	遵守しているとはいえない
		研修は実施されているか	B	体制を整備して実施されている	実施されている	実施されていない
		従事者が働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいるか	B	従事者が働きがいを持っていきいきと業務に取り組めるしくみが確立している	従事者が概ね働きがいを持ちいきいきと業務に取り組んでいる	多くの従事者が働きがいや意欲を持って取り組めない状況に置かれている (ゆえに退職率が高い等の実態がある)
		従事者(第三者委託先の従事者含む)が業務を行う際の安全管理が徹底されているか	B	従事者の安全管理が徹底されるしくみが確立している	従事者の安全管理が徹底されている	従事者の安全管理が不十分である
6	個人情報保護体制 評価 (B)	個人情報保護の体制が整備されているか	B	充実した個人情報保護の体制がある	個人情報保護の体制がある	個人情報保護の体制がみられない・機能していない
7	危機管理体制 評価 (B)	緊急事態発生等への危機管理体制が整備されているか	B	充実した危機管理体制がある	危機管理体制がある	危機管理体制がみられない・機能していない
8	その他 評価 (A)	その他、条例等から必要と判断される評価事項(豊中市立小・中学校に対して、施設利用および主催事業参加への訪問啓発活動が実施されているか。)	A	学校への働きかけを活発に展開している	学校への働きかけを展開している	学校への働きかけを行っていない
	総合評価 (B)					

最高評価サービス水準値；S 確保すべきサービス水準値；N
(Sを0とすることも可能・SとNは異なる値とする)

1. 大をめざすサービス水準項目（稼働率・利用者数等； $N < S$ ）

① $S \leq$ 実績値の場合

評価=A

② $N \leq$ 実績値 $< S$ の場合

評価=B

③ 実績値 $< N$ の場合

評価=C

2. 小をめざすサービス水準項目（苦情件数・事故発生率等； $S < N$ ）

① 実績値 $\leq S$ の場合

評価=A

② $S <$ 実績値 $\leq N$ の場合

評価=B

③ $N <$ 実績値の場合

評価=C

【総合評価及び評価項目単位の三段階評価への換算条件】

A；優れた運営状況である

総合評価：評価項目の過半数がAであり、かつCがないこと

評価項目：評価項目内訳の評価ポイントの過半数がAであり、かつCがないこと

B；問題のない運営状況である

総合評価：項目の過半数がBもしくはAとBが同数、かつ複数のCがないこと

評価項目：評価項目内訳の評価ポイントの過半数がBもしくはAとBが同数、かつ複数のCがないこと（評価項目内訳の評価ポイントが1項目の場合は当該項目がCでないこと）

C；改善を要する運営状況である

総合評価：Cの評価項目が複数ある場合

評価項目：評価項目内訳の評価ポイントにCが複数ある場合

（評価項目内訳の評価ポイントが1項目の場合はその項目がCの場合）

※ただし、上記の換算条件に関わらず、選定評価委員会で総合評価として改善を要する運営状況であると判断される場合は、理由を明記のうえ、総合評価をCとすることができることとする。